

人とのかかわりや対話を通して、
主体性を育み、自己決定できる子

西が岡地区

西が岡小学校

領家キッズ保育園

宮の台幼稚園

1年目の成果

3年間の推進テーマ

重点課題

『人とのかかわりや対話を通して、
主体性を育み、自己決定できる子』

小学校

- ・一人ひとりのペアの園児に寄り添った活動 を模索し、交流内容を自分で決める経験
→自己決定する力
- ・ペアと自分の関係性がよりよい変化
- ・友だちとペアとの関係の変化への気づき
→自分の成長、友だちの成長への気づき

年間を通した「園児・児童のペア活動」
を通して、

- ①自己の成長に気付く。（児童）
- ②小学校への期待を高める。（園児）

園児

- ・年間を通した繰り返しのかかわりの中で人との交流を楽しむ姿が見られた。
- ・かかわりの中で、小さな自己決定を積み重ねられた一方で、児童中心の計画が多く、園児の思いを表現する機会が少なかった。

○児童も園児も重点課題は達成された。
(児童：自己の成長への気づき/園児：小学校生活への期待 を高める)

△園児が自己決定する機会の設定

1年目の課題

3年間の推進テーマ

小学校→保育園→幼稚園の3年間
同じ推進テーマから
それぞれの視点や気づき・考えを知っていく。

【2年目へ向けて】

- ・園児の主体的な参加
- ・自己決定する場を設定できるようにする。

2年目の成果

小学校

- ・ 昨年やってもらったことを伝えたり、返そうとしたりしていた。
- ・ 園児に対する理解が深まった。
- ・ 学校だけでなく保育園での交流もあり、自分の気持ちを主張し 伝え合うことができた。
- ・ うさぎを通していつもと違う一面が見られて新鮮だった。

保育園

- ・ 決まったペアと1年間を通して関わりが持てたので、交流を重ねて行くたびにやりたいことや、やってみたいことを伝えられるようになった。
- ・ 小学校へ行く機会が増えたことで、楽しみにする気持ちを抱き、学校が身近な場所になっていった。

幼稚園

- ・ 最初は個々がそれぞれ楽しんでいたが、回数を重ねるごとに 距離が縮まっていった。
- ・ 幼稚園の行事が多く、予定が合わない難しさを感じた。

2年目の課題

- 年度初めに子どもの様子を伝え合いながらペアを作ったことが良かった。
(自己決定しやすい場面が生まれやすかった。)
- 幼児期にはさりげなく意図的な援助を行うことで、より自らの思いを実現させていこうとすることが分かった。
- △幼稚園は年間行事計画がしっかり組まれているので、3年目はどのように活動していくか工夫が必要だと分かった。
3年目の推進委員会を4月に行えるように話し合っていく。

3年目のとりくみ

3年間の推進テーマ

『人とのかかわりや対話を通して、
主体性を育み、自己決定できる子』

2024年4月1日「第1回推進地区委員会」

- 昨年度からの変更点
- 年間計画(推進委員会・交流予定)
- 役割分担 ○交流内容
- 予算について ○連絡方法の確認

3年目のとりくみ

第1回交流 出会いの会 5/13(月) 園児と小学生が同じ公園で出会う



今年度最初の交流でしたが、長縄跳び、ボール遊び、おにごっこ、遊具での遊び、虫探し等々、いろいろな交流の姿が見られました。

3年目のとりくみ

第2回交流 なかよしの会 6/3(月) ペア 顔合わせ ペアでの遊び



小学生2人対園児2人でペアを決め、自由画や折り紙遊びなどを楽しみました。
小学生同士が協力し合う姿も見られました。
おしゃべりしながらもたのしげなペアもあれば、緊張が見られるペアもありました。

3年目のとりくみ

第3回交流 夏あそびの会 7/1(月) ペアと夏らしい遊び



急な雨でしたが屋根の下でシャボン玉をペアで楽しみました。名前を憶えているペアも見られて、前回緊張が見られたペアも距離が縮まった様子で楽しそうでした。

3年目のとりくみ

第4回交流 音楽会 9/17(木) 小学校の音楽会に招待され一緒に鑑賞



音楽鑑賞の部屋までペアで移動しますが、お互いにすぐに自分のペアを見つけて、再会を喜んでいる様子でした。一緒に鑑賞できた事でさらに心の距離が縮まりました。

3年目のとりくみ

第5回交流 運動会頑張ったよの会 10月 お互いのダンスをDVDで交換し見せあう



領家キッズさん(保育園)と
1年3組はお互いに見せ合えたが、
幼稚園は都合が合わずに計画通りでき
なかった。
今後の計画の立て直しと確認を行った。

3年目のとりくみ

第6回交流 秋あそび 11/26(火) ペアと秋を感じる遊び



1年生の皆さんがたくさんの遊びを準備して待っていてくれて、
ペアでいろいろな遊びを楽しめました。園児から「また小学校に行きたい！」

3年目のとりくみ

第6回交流 秋あそび 11/26(火) ペアと秋を感じる遊び



小学生が交流を楽しみにしていただける気持ちが伝わりました。
6回目の交流ということもありそれぞれのペアが打ち解けて、
園児から「あっちで遊びたい！」など主体的に参加して遊べました。

3年目のとりくみ

第7回交流 冬あそび 1/14(火) ペアと冬を感じる遊び



「とんとん相撲」



「あやとり」



「お手玉」



「けん玉」

たくさんのお正月遊びを準備してくれた。

「にこにこ笑顔をたくさん見たい！」と今日のねらいを話してくれた。
園児の気持ちに寄り添い「なにしたい？」と声をかけて
園児の思いに寄り添って、遊び方を説明してくれた。

3年目のとりくみ

第7回交流 冬あそび 1/14(火) ペアと冬を感じる遊び



「だるま落とし」



「めんこ」



「福笑い」



「こま回し」

小学生からも「前は何がしたいか行ってくれなかったペアの子が何をしてあそびたいか言ってくれるようになった。」
「にこにご笑顔をたくさん見ることができました。」など活動を振り返っての感想も発表してくれた。

3年目のとりくみ

第8回交流 もうすぐ1年生だねの会 2/25(火)予定 小学校入学への不安解消

- ・前もって入学に向けての園児からの質問をし、1年生に答えてもらう。
- ・学校探検をして、様々な部屋があることを知り、入学を楽しみにできるようにする。

3年目の成果と課題 ①

小学校

- ・ 継続して活動しているのでその経験を生かしていた。 → 意欲が高かった。
- ・ ペアの子との関わりが深まるにつれ、相手の事を考えた活動ができた。
→ 相手意識が高まった。自分のペアの成長に気づけた。
- ・ 保育園と幼稚園で交流するクラスを分けた。
→ ペアとの関係を築きやすかった。

保育園

- ・ 小グループ制にしたことで欠席児がいても交流が持ちやすかった。
- ・ 交流に対して積極的に遊べる子どもと自分のやりたいことを優先してしまう子どももいたが、1年生がリードしてくれたので、交流を楽しめた。
- ・ 交流内容がお互いに楽しめるものだったので、小学校に行くことが楽しみになっていった

- ・複数ペアにしたことにより、幼稚園の友達がいるので、自己決定したことを伝えやすかった。
- ・いろいろな遊びを考えて「どれにする？」と聞いてくれたので主体的に参加できた。
- ・小学生2名、園児2名のペアだったのでお休みがいても一人になることなく交流を楽しむことができた。
- ・子どもたちから「ペアの1年生に手紙を書きたい！」と声が出てきた。交流の積み重ねの成果であり、小学校が楽しい場だと思わせてくれた。

次年度に向けて

- ・ 推進地区事業が終わっても交流は大切にしていきたい。
- ・ 1年生にとっても楽しみな活動であることが分かった。
- ・ 2025/4/1 (火) 16:00に担当者と顔合わせを行う事を決めた。
- ・ 各自で連絡を取り合えるようにし、無理のない範囲で交流していくことを確認した。